

令和 8 年 6 月 1 7 日

取手市議会議長

山 野 井 隆 殿

建設経済常任委員会

委員長 入 江 洋 一

委員会中間報告書

本委員会の調査事件について、会議規則第 4 5 条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 取手第一中学校 3 学年との協働事業で可決された議案に関する当委員会所管事務
- 2 調査の経過 令和 8 年 3 月 1 1 日、4 月 3 0 日、6 月 1 7 日
- 3 意 見 別紙のとおり

【建設経済常任委員会】令和7年度取手一中3年生との協働事業（提案事項）

項目	中学生からの提案事項	調査報告及び検討事項
1	「レッツシング♪ゴミ拾い競争」 まちが汚く活気がないと感じる。ゴミ拾いと音楽を融合した新しい形のゴミ拾いイベントを定期的を実施することで、地域を明るくきれいにして交流を創出	1 現状と課題 現在取手市では、「まちをきれいにする条例」に基づき、駅周辺の清掃活動や、市民の皆様による地区清掃への支援を継続して実施しております。 しかしながら、 ・若い世代の参加しやすい機会が十分に確保できておらず、将来にわたる活動の持続可能性に課題があること。 ・清掃が作業的・義務的になりやすく、多世代が楽しみながら交流を深めるといった要素が不足していること。 といった状況も見られます。 こうした中、より多くの市民が主体的に、かつ親しみを持って参加できる環境づくりが必要であると認識しております。 2 実施に向けた実務上の課題 提案の「音楽」と「ゴミ拾い」を融合させる新しい試みは、特に若い世代の参加を促す有効な手法である一方、実施に当たっては整理すべき実務的な課題もございます。 ・競技形式に伴う事故防止のための安全管理スタッフの確保や審判員の配置といった、従来の清掃活動に比べ、運営体制の強化が求められること。 ・音響機材の用意や設営に伴う運営負担のほか、音楽を使用することによる騒音対策や近隣住民の皆様への丁寧な事前説明が不可欠なこと。 ・一過性のイベントで終わらせず、地域に根付いた仕組みとして定着させるための予算の確保や、協力団体との連携が求められること。 3 今後の検討 ご提案の「レッツシング♪ゴミ拾い競争」は本市の環境美化活動を「楽しみながら交流する場」へと転換させるという、創意工夫に満ちたご提案でございます。 実施に当たっては、安全確保や運営体制の整備など解決すべき実務的な課題もあります。

		これらの課題を踏まえつつ、若い世代の皆さんの発想を取り入れた、新しい美化活動の在り方について、調査を進めてまいります。 また、今後、ゴミ拾いを競技化する等のイベントを行っていただけるように検討してまいります。
--	--	--